

■唐竹小学校跡施設活用基本方針（案）に関する説明会における質疑応答及び説明会后にいただいた意見の概要

1. 実施概要

□開催日時：①2018年12月1日（土）午前10時00分～11時30分、②12月2日（日）午後6時30分～8時10分

□参加者：①30名 ②21名（うち2名中学生） 計51名

2. 質疑応答概要 1/3

No.	区分	質疑・意見概要	市の考え方
1	コスト	とてもいい案だと思うが、予算はどのくらいを想定しているか。	エレベーターの整備に加え、バリアフリー化や駐車場の整備には最低でも1億円以上はかかると想定している。それ以外は、教室の形状を生かすなど、大掛かりな改修ができるだけないように考えていきたい。また、国等の補助金もうまく活用して市費負担を極力軽減したいと考えている。
2	歴史	既存の歴史民俗資料室は、保有教室数に含まれているか。	保有教室（約50室）数に含んでいる。
3	コスト（歴史）	市内の文化財関係施設（市史編纂室・収蔵庫・二村会館）を移転・集約するとのことだが、移転費用や改修費用が高額となることが想定されるか。	歴史民俗資料収蔵庫（阿野町坂部）については、売却することも検討しており、今回の整備において不要となった土地・建物等の売却益を見込んで、移転費用や改修費用をまかなっていききたいと考えている。なお、歴史民俗資料室については、今回の整備によって、子どもたちにもたくさん来てもらって、豊明市の歴史について、気軽に、楽しく学べる施設にしたいと考えている。
4	導入機能	導入する機能の考え方の中で、提案されている施設がそれぞれどの機能にあたるのか教えて欲しい。	①従前から導入されている行政機能は、「歴史民俗資料室」「避難所」「投票所」など、②今後必要となる行政需要に対応する機能は、「児童発達支援センター」「子育て支援センター」など、③互換性がある機能は、「障がい児の相談」「おたがいさまセンター」などの相談機能や「フレクラス」などの学習支援機能、④地域コミュニティを形成する機能は、「市民交流センター」「その他交流施設」など、⑤市民の利便性が高まる機能は、「生涯学習講座」などを想定している。
5	集会所	以前、普通教室の壁を取り払って2教室分を使えるような広めの集会所スペースを要望したが、どこになるか。	南館3階の多世代交流スペース（現音楽室）などで多くの方が集まることは可能と考えている。なお、教室の壁を取り払うことについては、構造上の問題やコストも含めて、今後検討していく。
6	EV	エレベーターは外付けの予定とのことだが、既存のエレベーターは活用できないか。	既存のエレベーターは配膳用であり、人が乗る前提ではない、また現状3階までしか上がれないため、いずれにしても改修が必要である。車イスの方やベビーカーを引いて来られる方など、たくさんの方が利用できるように、外付けで新設したい。また、車イスも複数台、ストレッチャーが必要な方も入れるくらい大きさも検討していきたい。
7	施設	3階の連絡通路は屋外になるが、吹きさらしの状態か。	悪天候の場合、利便性や安全面を考えると、屋根のようなものを設置できるとよいが、構造上の問題やコストも含めて、今後検討していく。
8	カフェ	飲食店は設置できないか。	家庭科室がある学校施設の特性を生かして、調理室については整備したい。この調理室で市民のみなさんが料理教室を実施したり、子ども食堂を実施していただくなど、飲食をしていただくことは考えている。カフェ的な機能については、飲食可能なスペースへの自動販売機の設置や移動販売など、今後検討していく。
9	子育て	子育て支援センターと児童発達支援センターとの住み分けについて、できれば発達障がいのある子どもさんも、分け隔てなく一緒にあそべる施設にして欲しい。	1階では児童発達支援センターが専有施設として展開され、2階では子育て支援センターや屋内あそび場などを整備する。これは、児童発達支援センターの整備要件として、専有施設とするもので、隔離するような考えでは決していない。市としても、今回の整備において、様々な方が集まり、様々な形で交流できる場所にしたいと考えているため、障がいのある子もない子も、可能な限り一緒に過ごせる機会を作っていきたいと考える。
10	今後の進め方	今後の進め方として、具体的な協議はどんなことを想定しているか。	例えば、児童発達支援センターや子育て支援センター、市民交流センターなどの関係団体とその管理運営やどう連携するとよいかなど、また利用者として市民のみなさんとも利用について必要な協議をしていく予定。
11	バリアフリー	段差は極力なくして欲しい。	バリアフリー化については、今後専門家の意見も聞きながら協議をしていく。
12	駐車場	グラウンドはイベントなどの際、全面を駐車場として使えるか。	臨時的に駐車場として使うことも検討したい。
13	その他	二村会館にある歴史民俗資料収蔵室を集約するとのことだが、二村会館自体はどうなるのか。	一部の機能は移転するが、施設自体はそのまま残る。具体的には、1階部分の集会所機能や2階部分の放課後子ども教室はそのままとし、3階部分の歴史民俗資料を唐竹小学校跡施設に移転して、その3階部分を新設校における学校機能もしくは学校に付随する機能として活用することを検討している。
14	プール	プールの跡地はどうするの。防災の観点で何か考えられないか。	現時点では、児童発達支援センター専用の屋外遊戯場として活用したい。その際、単純に埋め立てしてしまうのではなく、プール槽を防火水槽として活用できないか検討している。コストなども含めて、今後協議していく。
15	図書館	図書館の分室としては使わないのか。	市立図書館との距離も近いので、現時点では図書館の分室としての必要性は考えていない。今後の協議の中で、要望などがあれば検討したい。ただし、子育て支援拠点として、子ども図書館など必要な機能は整備したい。市民のみなさんにも協力いただきながら、利用者が本に触れ合う機会など設けていきたいと考えている。
16	交通	車以外の交通手段はあるか。	公共交通手段としては、ひまわりバスのバス停を近くに設置し、アクセスしやすい環境を検討している。
17	利用方法	市内・市外の方の利用についての考えは。	利用料や予約の方法については、今後協議していくが、できる限り豊明市民に多く使っていただきたいと考えている。
18	防音施設調理室	太鼓の練習は可能か。調理室など、現在改善センターで行っている団体がこの施設を利用することは可能か。	防音設備も整備したいと考えているため、基本的に太鼓の練習も可能である。調理室も同様であるが、特定の団体が専有できるものではないため、改善センターで実施している団体に積極的にこの施設での実施を促すものではない。こちらでもやっていただけないという考え方。

2. 質疑応答概要 2/3

No.	区分	質疑・意見概要	市の考え方
19	子育て	保育課の機能、子育て支援課の機能も移転されるのか。子育て支援センターに母子保健機能は移すのか。また、ファミリーサポートセンターもこの施設で展開するのか。	保育課や子育て支援課のすべての機能を集約する予定はない。子育て支援センターで実施した方がよい事業については実施したいが、ファミリーサポートセンターなどは現時点では予定していない。今後必要があれば検討していく。
20	調理室	調理室について、調理器具は今の学校の家庭科室程度のものなのか、カフェなどの厨房器具を整備する予定なのか。	調理器具については、現在の家庭科室程度のものを想定している。今後、バザーや寄附などを募るなどなるべくお金をかけない形で、整備していきたい。
21	カフェ	常設カフェの設置はできないか。	飲食ができる場所は設けたいが、常設した形でのカフェの設置は予定していない。民間事業者が常設するカフェについては、事業採算性などからも難しいと考えている。チェーン店などのカフェについてもかなりの費用を負担する必要がある。ただし、弁当やパンを持ってきて販売するなど、提供する形での食事については検討していきたい。
22	セキュリティ	建物内での盗難や不審者の侵入などセキュリティの確保についての考えは。	盗難防止に関しては、コインロッカーや防犯カメラの設置などを検討していきたい。また、不審者の侵入に関しては、専門家と協議していきながら、セキュリティの確保に努めていきたい。
23	あそび拠点	あそび場などに保育士は常駐するか。	子育て支援センターには保育士が常駐するが、屋内あそび場などについても常駐するのかは、今後協議していく。
24	利用方法	営利団体の利用は想定しているか。	基本的には非営利団体の利用を想定している。しかし、今後の協議の中で、部屋の利用が埋まらないことが見込まれる場合、営利活動も認めていく可能性はある。その場合は、料金設定で差別化を図るなど、詳細については協議していきたい。
25	その他	クラウドファンディングなどを募ったり、市民みんなでつくっていく施設としてアイデア募集をしたり、市民参加のプロセスを検討して欲しい。	非常によい意見なので、ぜひ実現できるよう検討していきたい。
26	施設	今ある施設を集約するとのことだが、もともとの施設より面積的に狭くなることはないか。	施設の広さについては、市民ニーズや今後の行政需要を踏まえて、適切な面積にしたいと考えている。例えば、児童発達支援センターは、定員40名まで対応可能なスペースを確保している。他の施設についても、不足することはないと考えている。
27	避難所	今回統廃合に伴って愛校心が薄れていくことを危惧する。小学生にも避難所スタッフとして活躍してもらうためにも、防災教育について徹底して欲しい。	現在豊明市では防災教育に力を入れている。市内には高校が2校あり、防災サポーターの講習を積極的に受講していただき、災害時のスタッフとして中心的に担ってもらえる体制づくりをしている。また、中学校3校については防災教室を実施するなど、実際の災害時には中学生のみなさんにも活躍してもらいたい。小学生については、まずは自身の健康を守っていただくことを最優先したいと考えている。愛校心については、薄れていかないように両校の歴史を保存するスペースの整備についても検討していく。
28	管理運営	唐竹小学校区に非常によい施設ができることが分かり、他地区からするとうらやましいくらいである。行政が管理運営するのではなく、市民グループなどに担ってもらうなど市民の力を引き出せるような施設にして欲しい。	児童発達支援センターと子育て支援センターには、専門職員を配置するが、その他の施設については、極力市民のみなさんの力を借りて管理運営していただきたいと考えている。ただし、セキュリティについては、配慮する必要があるため、今後詳細について協議していく。
29	保育所	待機児童の解消のため、保育所を設置することは可能か。	現時点で、保育所を設置することは考えていない。なお、待機児童の解消については、市全体の別の課題として、慎重に検討していきたい。
30	産後ケア	南館2階のあそび拠点又は交流ゾーンに産後間もないお母さんや赤ちゃんの拠点となるような産後ケアスペースを設置できないか。	産後ケアについては、重要な課題であると認識している。市としても一歩一歩ステップアップしている状況で、協力いただいているグループのみなさんには感謝している。しかしながら、今回の唐竹小学校の跡施設活用では適切な環境が整備できない可能性もあり、市全体の別の課題として、慎重に検討していきたい。
31	歴史	歴史民俗資料室の移転作業は誰が行うのか。	大事な文化財なので、基本的には専門業者に作業を委託する予定。ただし、資料整理などについては、歴史民俗資料研究会のみなさんにもご協力をいただながら行っていきたい。
32	共生	唐竹小学校区は外国籍住民が多い地域であり、外国籍の子どもたちの日本語支援を行う施設として活用できないか。	現在、NPO法人に外国籍の子どもたちへの日本語初期指導事業を委託しており、双峰小学校内と豊明団地内で事業実施している。その中で、豊明団地で実施している日本語教室を、今回跡施設に移転させて、実施していきたいと考えている。なお、今回の跡施設の活用コンセプトとして、外国籍住民に限らず、どなたでも気軽に来れる、安心して利用できる施設にしていきたいと考えている。
33	施設	築40年の施設を改修することで、今後何年くらい使うことができるのか。また、その後は解体するのか。	現在、公共施設の適正配置計画を策定している段階で、今回の唐竹小学校施設についても、その中で検討していくことになる。人口減少以上に子どもたちの数が減少していくことが想定されるので、学校の長寿命化と併せて、子どもたちにとって適正規模で学べる環境を考えていかなければならない。また、今後、20年から25年後には学校の建替え時期が集中するが、新たな学校の建設にあたっては、学校だけの機能をもった学校は建設する予定はない。今回の跡施設における導入機能が、今後の学校施設の複合化における参考となる。今後、この地域で学校や公共施設をどのような形で配置するのかも含めて検討していく。

## 2. 質疑応答概要 3/3

No.	区分	質疑・意見概要	市の考え方
34	歴史	総合受付が北館2階にあるが、歴史民俗資料室を利用する場合、2階の受付に行ってから、南館1階に移動するのはいかがなものか。また、セキュリティ面については問題ないか。	歴史民俗資料室は南館1階を予定しているため、総合受付を通らずに利用できるように検討していく。セキュリティ面については、必要な時には職員を配置するなど、今後の協議の中で検討していきたい。
35	歴史	現在北館1階にある歴史民俗資料室をわざわざ移設することはないと思うが、北館1階にそのまま残すことはできないか。	今回の跡施設活用において、児童発達支援センターの整備を最優先して検討してきた。障がい児が通う施設として、子どもたちやその保護者が利用しやすい環境、また今後の定員増も見込んで十分な施設を整備したいと考えている。そのため、歴史民俗資料室を北館1階のまま残すことはできず、今回移設することになるが、使えるものはそのまま移設するなどできる限り工夫した整備を検討していきたい。
36	施設	音楽・ダンススタジオを社交ダンスの練習でも使用したいと考えるが、使用可能か。また、どのくらいの大きさか。	現時点では、北館4階の現多目的室を改修して、音楽・ダンススタジオを整備したいと考えており、普通教室2教室分(約130㎡)の広さを予定している。なお、北館4階部分については、中高生世代交流施設として、中高生にできる限り使用して欲しいと考えるが、それ以外の方が使用できないというものではない。利用可能な時間帯や料金設定を工夫するなど、詳細については今後協議していきたい。
37	今後の進め方	お母さんを笑顔にできる活動をしたいと思っている。今後具体的な協議をしていく中で、お母さんの声を聴いて欲しい。また、運営にもお母さんが携われるような仕組みは考えていく予定はあるか。	今後様々な市民・団体と協議をしていく中で、お母さんたちの声についても聴くような場を設けたいと考えている。また、市民交流センターにおいて、新しい団体の利用がなかなか広がらない現状があるため、施設整備にはそのような活動を行っている市民団体のみなさんにも積極的に活用していただきたい。
38	セキュリティ	施設周辺に監視カメラを設置する予定はあるか。	施設内への防犯カメラの設置は想定しているが、敷地外への監視カメラの設置については検討していない。
39	その他	家族の機能が低下していると感じている。コンセプトにもあるように共生社会が実現できるような施設になるとよい。また、市民が創っていく施設になればよいと思う。	市としてもそのような施設にしたいと考えている。
40	避難所	校舎も含めて施設全体を避難所として使えるのか。	基本的にはこれまでどおり、体育館が指定避難所となる。ただし、災害規模等により、一部の施設を使用していただく可能性はある。

## 3. 説明会後にいただいた意見概要(4名、2団体:6件)

No.	区分	意見概要	市の考え方
1	利用料	活動室を今後活用させて頂きたいと思う場合、施設利用料などはどのように決められるか。現在ある公民館などの施設は、営利目的であった場合高額な施設利用料が必要となり大変使いづらい状況。	利用方法等の詳細は、今後検討していく予定で、同様に施設利用料をどのように決定していくかについても、現時点では未定。跡施設の利用については、基本的に非営利団体を想定している。
2	子育てほか	新しい子育て支援の形を取り入れて欲しい。そのために、もっと分かりやすい形で市民に広くアイデアを求めて、たくさんの方が関わってこの施設を作り上げて欲しい。具体的には、①託児も可能な見通しのいいキッズスペース、②託児を利用しながら、お母さんたちが講座を受けたり、手仕事をしたりできるスペース、③シェアオフィスのようなスペース、④講演会やイベントが開催できるレンタルルーム、⑤こども文庫(読み聞かせなどを定期的開催)、⑥多世代が利用できる、惣菜や弁当の販売やカフェなど民間運営も含めて検討して欲しい。	託児やシェアオフィスについては、現時点では想定はしていない。その他、読み聞かせや講演会、イベントが開催できる活動室などは整備する。運営方法については、今後協議していく。
3	子育てほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを預けてママたちだけで話せる空間</li> <li>物々交換やリサイクル、フリマや子供たちで作るマーケット、ファーマーズマーケットなどのイベント</li> <li>畑や花、果樹を育てる場所(子供や地域の方と一緒に世話ができる)</li> <li>お山も作って泥遊びできるプレーパークのような場所</li> <li>こども食堂のような、世代関係なく赤ちゃんから年配のまで食卓を一緒に囲めるような場</li> <li>多世代の人が、自分のできることで交流の場を広げられるワークショップをしたい</li> <li>手仕事や昔遊びを通して、年配の方との交流ができる場や、そのようなことができる放課後教室</li> <li>梅干しを漬けたり、たくわんを漬けたり、味噌を仕込んだり昔ながらの手作りのものを子ども達と一緒に手仕事でやる活動</li> <li>家庭でもできそうな地球に優しい暮らしの提案の場として親子で取り組めそうなことをする場</li> </ul>	詳細な事業については今後の協議ではあるが、いただいた意見のような事業や場を提供できるように、市民のみなさんが広く集まれる活動拠点としたい。
4	施設	春日井市の「グルッポふじどう」を参考とした施設にして欲しい。今回の唐竹小学校跡地は、ここをどのような施設にするかが、新しい世帯を呼びこむチャンスであると思うので、カフェ併設(外部委託も考え)も検討いただきたい。次の子育て世代が「豊明市に引っ越したい」と思えるような施設のひとつにさせていただきたいと切に願う。	今回の整備にあたって、本市としても春日井市の「グルッポふじどう」の整備については、視察をするなど大変参考にしている。それを踏まえた上で、カフェの設置については、事業採算性などからも難しいと考えるが、その他魅力ある機能を導入することで、充実した施設にしたい。
5	施設	工作専用の活動室を整備して欲しい。	北館3階、4階の活動室の一部を工作専用の活動室として整備することを今後検討する。
6	今後の進め方	①市民の主体的な議論の場づくりの重視 ②開設に向けたプロセスを分断型ではなく協働(総動)型に	開設に向けて、利用や管理・運営が想定される関係者(市民、団体等)とも協議していく。